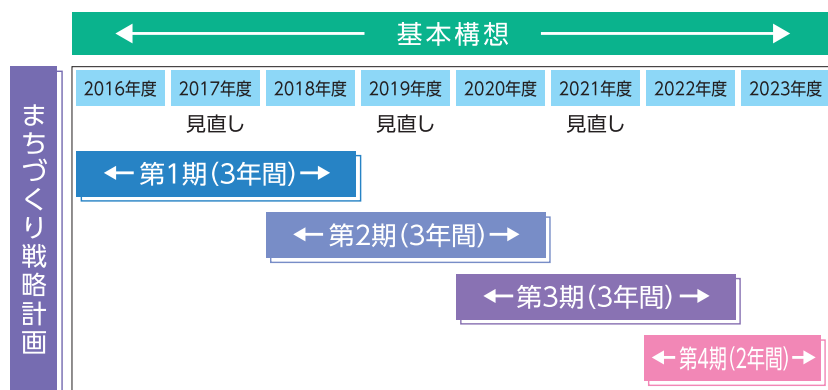
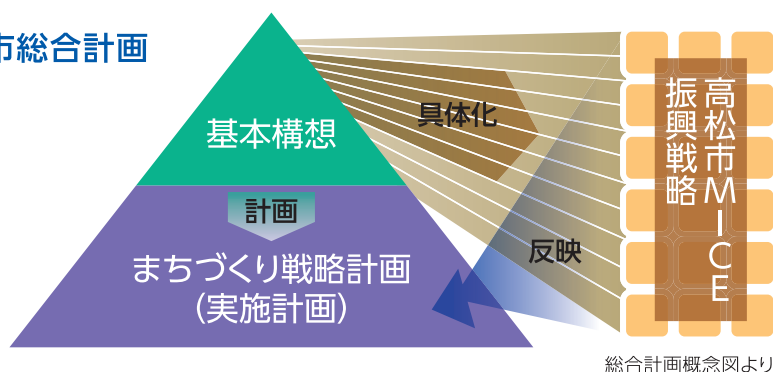


第4章 戦略の推進

「第6次高松市総合計画」における目指すべき都市像の実現に向けたまちづくりの目標の一つである「産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち」を実現するため、次のように本戦略を推進します。なお、本戦略の期間は2017年度から2023年度までの7年間とし、「高松市まちづくり戦略計画」の中で進行管理を行います。

「高松市まちづくり戦略計画」は、まちづくりの目標達成に向け、現実の行財政運営において、重点的・戦略的に推進する主要な施策・事業等について、実施年度、事業量等を具体化する短期的な実施計画として定めるもので、毎年度の予算編成及び事業実施の指針とするものです。本戦略は、「第6次高松市総合計画」の基本構想を具体化する分野別計画として位置付け、進捗状況は行政評価などにより公表します。

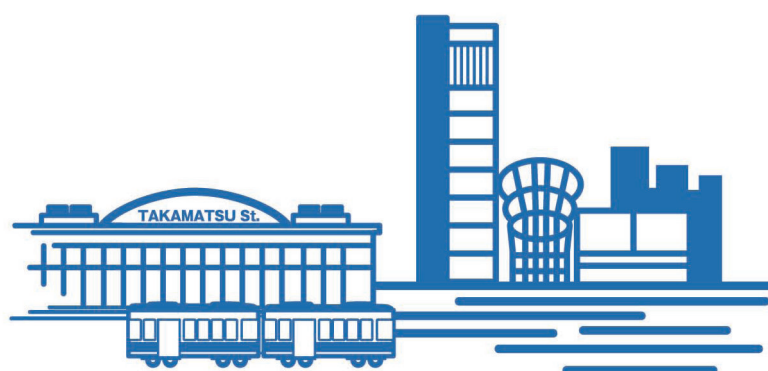
■第6次高松市総合計画



本戦略の推進に当たっては、戦略推進の実行体制を整備するとともに、取組の優先順位を明確にしながら、施設間連携を始めとした受入環境の整備や、誘致ツールの整備などによる誘致を強化します。また、産官学市民との連携により、本市ならではのMICEの創出、MICE関連事業者のサービス水準の向上、誘致に当たって提案力の強化などに取り組みます。

MICE開催においては、開催効果が最大化するように取り組み、地域への経済波及効果、ビジネス・イノベーションの機会の創造及び都市のブランドイメージの向上の更なる達成を目指します。

このような取組の成果により、本戦略の最終年度である2023年度までに、観光・MICE都市としての知名度を向上させてブランドイメージを確立し、MICEの振興による「産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち」の実現を目指します。



資料編

1 ● 高松市MICE振興戦略策定経過

年 月 日	内 容
2016年6月7日	<p>◎第1回高松市MICE振興戦略策定懇談会</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 会長・副会長の選任について ● 高松市MICE振興戦略（仮称）の策定について
2016年8月16日	<p>◎第2回高松市MICE振興戦略策定懇談会</p> <ul style="list-style-type: none"> ● MICEの考え方の整理 ● 高松市MICE振興戦略（仮称）の骨子案について ● 誘致推進体制について
2016年9月30日	<p>◎高松市MICE振興戦略（仮称）策定にかかるワークショップ</p> <p>本戦略の策定に当たり、MICE関係者に御議論いただき、施策案等の参考とした。</p> <p>【参加者】</p> <p>有識者、施設関係者、宿泊事業者、観光事業者、旅行事業者、交通事業者、経済団体、金融関係、行政（計19人）</p>
2016年11月30日	<p>◎第3回高松市MICE振興戦略策定懇談会</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 高松市MICE振興戦略（仮称）の素案について ● 香川県MICE誘致推進協議会について
2016年12月15日	<p>◎市議会総務消防調査会</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 高松市MICE振興戦略（仮称）の素案について
2016年12月21日 ～2017年1月20日	<p>◎高松市MICE振興戦略（仮称）の素案についてのパブリックコメント実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 意見件数4件
2017年2月20日	<p>◎市議会総務消防調査会</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 高松市MICE振興戦略（仮称）の原案について
2017年2月22日	<p>◎第4回高松市MICE振興戦略策定懇談会</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 高松市MICE振興戦略（仮称）の原案について

2 ● 高松市MICE振興戦略策定懇談会

本戦略の策定に当たっては、MICEに関係する各分野で活躍する学識経験者、経済団体関係者、観光に関する事業者、MICEに関する事業者などからなる「高松市MICE振興戦略策定懇談会」を設置し、専門的な立場からの意見聴取を行った。

「高松市MICE振興戦略策定懇談会」名簿(敬称略)

会 長

村山 卓 香川大学大学院地域マネジメント研究科 教授

副会長

角谷 寿彦 公益財団法人高松観光コンベンション・ビューロー
コンベンション推進部長(2017年1月まで)

橋村 秀樹 公益財団法人高松観光コンベンション・ビューロー
コンベンション推進部長(2017年2月から)

委 員(五十音順)

安部 雅之 公益財団法人高松市文化芸術財団 常務理事(事務局長)

井上 知己 シンボルタワー開発株式会社 指定管理部長

鹿庭 弘百 一般社団法人 街角に音楽を@香川 代表理事

紀伊 雅敦 香川大学工学部安全システム建設工学科 准教授

坂口 祐 デザイナー／物語を届けるしごと

四之宮 和幸 四国旅客鉄道株式会社 営業部長

土居 邦壽 高松ホテル旅館料理協同組合 専務理事

西村 周子 公益社団法人高松青年会議所 理事長

三村 和馬 穴吹エンタープライズ株式会社 取締役 指定管理者事業部長

宮武 寛 高松商工会議所 常務理事・事務局長

矢田 博嗣 一般社団法人日本旅行業協会中四国支部香川地区委員会 委員長

オブザーバー

小幡 章博 国土交通省四国運輸局観光部 部長(2016年6月まで)

堤 俊哉 国土交通省四国運輸局観光部 部長(2016年7月から)

安松 延朗 香川県交流推進部 部長

3 ● MICE関係施設一覧

■ 会場等

名 称	内 容
高松市文化芸術ホール	サンポート高松の中核施設「高松シンボルタワー」内にあるコンベンション機能を有する施設。愛称はサンポートホール高松。大ホールと2つの小ホール、12室の会議室等を備えており、開催規模に応じた様々な会議、ミーティングなどのMICE開催も可能です。また、かがわ国際会議場と大ホールを映像・音声とも双方向、小ホール、展示場、54会議室は音声を双方向で繋ぐコンベンションネットワークを利用することで約3,000人規模の同時会議などにも使用可能です。
かがわ国際会議場	サンポート高松の中核施設「高松シンボルタワー」内にある会議場。国際会議などのコンベンションの他、展示会・セミナー・社内会議などの様々な形態のMICE開催が可能です。サンポートホール高松とのコンベンションネットワークにより、別会場をつないでの会議、分科会などを要する学会や会議などにも活用できます。
レクザムホール (香川県県民ホール)	香川県内最大規模のホール。2,001人収容の大ホールと807人収容の小ホールがあり、会議などを行えるほか、表彰式などの場としても利用できます。また、6Fにあるレストランは、会議後の食事の場などにも利用できます。
新県立体育館 (整備予定)	香川県がサンポート地区に整備を予定している中核的体育館。観客席5,000席以上のメインアリーナと小規模な大会の会場となるサブアリーナを有し、スポーツイベントだけでなく、学会や大会、コンサート等の大規模イベント、展示会、見本市など、多様な規模や内容のMICEの開催も可能となるほか、サンポート地区における他の施設との連携により、複合的な利用も期待できます。

名 称	内 容
サンメッセ香川	香川インテリジェントパーク内にある総合コンベンション施設です。大小様々な展示場・会議室があり、大規模なイベント・見本市から少人数の勉強会まで幅広く活用できます。
高松テルサ	小規模のセミナーや研修会に使用できる会議室、コンサートや講演会などに活用できる511席のホールのほか、宿泊施設、レストランも備える複合施設です。
市民交流プラザ IKÔDE瓦町	瓦町FLAG(ことでん瓦町駅ビル)内にある市民交流施設。市民サービス、健康長寿、アート、市民活動、図書の5つのゾーンで構成されており、小規模な会議等の開催や展示、ワークショップ等の場としても活用できます。
高松市生涯学習センター 「まなびCAN」	高松中央商店街のアーケード内にあり、ことでん片原町駅からも近い生涯学習施設。講演会などを開催できる220席の多目的ホールを始め中・小規模の会議・セミナーにも活用可能な大・小研修室や視聴覚室のほか、和室なども備えています。

■アフターコンベンション、ユニークベニュー等

名 称	内 容
史跡高松城跡 (玉藻公園)	日本三大水城、高松城。松平家当主の来賓をもてなすところとして使われていた披雲閣は大正時代を象徴する書院造の建物で、国の重要文化財にも指定されています。和と洋の共存ができる場所での会議やランチ、レセプションの開催ができます。
特別名勝 栗林公園	6つの池と13の築山がある回遊式大名庭園。明治時代に建てられた商工奨励館は、その趣を残しつつ2015年に内装を一新。北館には飲食を伴う式典やレセプション会場としても利用が可能なホールを備えています。また、園内には、抹茶や煎茶、食事を楽しむ施設があります。
屋 島	古代山城屋嶋城、源平合戦古戦場、四国遍路の霊場地 屋島寺があり、我が国で最初の国立公園にも選ばれた観光地。MICE開催時のアフターコンベンションのルートとして提案でき、高松らしいMICE開催には不可欠な要素です。屋島山上拠点施設を会議や式典、エクスカージョンの会場とした場合には、その後、夜景を楽しむなどのアフターコンベンションも提案できます。
屋島山上拠点施設 (整備予定)	屋島に整備中の複合施設。瀬戸内の多島美を背景に、本市ならではの特別なMICEを演出できます。研修、交流イベント等が開催できる多目的ホールが計画されており、建設後は、施設を使った会議やレセプション、エクスカージョン会場、ユニークベニューとしても利用できます。
屋島レクザムフィールド (高松市屋島競技場)	四国大会等の陸上競技大会が開催可能な「第2種公認陸上競技場」として整備された競技場。収容人数6,000人の観覧席を設けています。また、全国初となる棒高跳の公認競技が可能な室内競技場も併設。スポーツ関連のMICE誘致において活用できるほか、様々な式典などにも利用できます。
瀬戸内海の島々 (女木島、男木島、大島など)	瀬戸内の多島美を体感できる島々は、瀬戸内国際芸術祭で世界中から人々が訪れるなど注目を集める観光地であり、都市部からのアクセスが容易な島々は世界でも類を見ないことから、島々でのエクスカージョンの提案は高松らしさを強く印象付けるものとなります。また、島々を巡るアフターコンベンションルートを提案するなど、高松らしいMICEを実現するための大きな要素となります。

名 称	内 容
塩江温泉郷	高松空港からのアクセスも良く、高松市中心部からも約40分で移動できることから、エクスカーション会場として利用できるほか、アフターコンベンション提案の際に活用できます。
高松丸亀町商店街	本市中央商店街を代表する高松丸亀町商店街は、史跡高松城跡（玉藻公園）の南に延びる全長470mの築城以来約420年の伝統ある商店街であり、近年は民間主導の市街地再開発事業として、全国的にも注目を集めています。視察などエクスカーションの場としてはもちろん、アフターコンベンションの提案も可能です。また、高松丸亀町壱番街前ドーム広場はレセプションやイベントでも活用されています。
高松市美術館	高松市中心部に位置する都市型の市立美術館。高松中央商店街に隣接し、MICE誘致の中心となるシーフロントエリアからも徒歩圏内に位置するため、講演会やエクスカーション会場などに幅広く活用できます。
たかまつミライエ	子育て支援や子どもの学習を目的とした複合施設。式典やエクスカーション会場として利用できるほか、交流スペースや図書館、プラネタリウムは、アフターコンベンションにも活用できます。また、多目的室でのミーティングや講演会も開催でき、子どもに関するMICEに当たっては、市民とのワークショップなどの開催も可能です。
サンクリスタル高松	菊池寛記念館、歴史資料館、中央図書館から成るサンクリスタル高松は、本市の偉人や歴史を知ることのできる文化施設です。館内にはホール等を備えており、小規模の文化的な講演会や会合などのアフターコンベンション会場として活用できます。
高松市水道資料館	大正時代に建設された旧御殿浄水場を改修した水道のミュージアム。平屋建ての小規模施設ながら国の登録有形文化財にもなっています。式典やエクスカーション会場などに活用できます。

4 ● MICE用語集

◎アフターコンベンション

会議日程終了後、又は会議時間終了後に引き続いて計画されている各種の行事。自由行動としての周辺地域でのショッピング、娯楽などの活動も含めるのが一般的。

◎インバウンド(Inbound)

訪日外国人旅行や旅行者のこと。これに対し、自国から外国へ出かける旅行をアウトバウンド(Outbound)又は海外旅行という。

◎エクスカーション

会議公式プログラムの一部として、会議参加者及びその同伴者のために計画された、レクリエーションのための小旅行や遊覧。「ツアー」(Tour)ともいう。プログラムに関連した視察旅行も含む。

◎グローバルMICE都市／グローバルMICE強化都市

MICE誘致競争を牽引することができる実力ある都市を育成することを目的にしたMICE誘致力向上のための施策により、選定された都市。

● グローバルMICE都市／2013年6月選定(7都市)

東京、横浜市、愛知県名古屋市、京都市、大阪府大阪市、神戸市、福岡市

● グローバルMICE強化都市／2015年6月選定(5都市)

札幌市、仙台市、千葉県千葉市、広島市、北九州市

◎国際会議協会(ICCА:International Congress and Convention Association)

1964年設立の団体で、現在約60か国、450団体の会員を擁する。会員は会議場、ビューロー、PCO、ホテル、旅行会社、航空会社、関連サービスの7種類に分類され、総会などを通じて相互の情報交換、産業発展のための諸活動を行っている。

◎コンベンション・ビューロー(Convention Bureau)

コンベンション誘致等を目的として、地域のMICE関連事業者等とともに都市のマーケティングなどを担う非営利組織。観光部門を持つ組織の場合は、コンベンション・ビジターズ・ビューローという。本市においては、(公財)高松観光コンベンション・ビューローがその役割を担う。

◎コンベンション法

国際会議等の誘致開催を促進する法律で、1994年に施行。正式名称は「国際会議等の誘致の促進及び開催の円滑化等による国際観光の振興に関する法律」。国際会議観光都市の認定には、以下の条件が必要とされている。

(第5条 抜粋)

- 一 国土交通省令で定める基準に適合する前条第2項第1号に規定する施設が整備されていること又は整備されることが確実であること。
- 二 国際観光ホテル整備法(昭和24年法律第279号)第3条の登録を受けたホテルその他の前条第2項第2号に規定する施設で国土交通省令で定める基準に適合するものが整備されていること又は整備されることが確実であること。
- 三 専ら国際会議等の誘致及びその開催の円滑化に関する業務として国土交通省令で定めるものを実施する機関その他の国際会議等の誘致及びその開催の円滑化に関する業務を適確に遂行するに足りる体制が整備されていること。
- 四 当該市町村の区域又はその近傍に国際会議等に参加する外国人観光旅客の観光の魅力の増進に資する観光資源が存在すること。

◎瀬戸・高松広域連携中枢都市圏

圏域全体の生活関連機能サービスの向上に加え、経済成長のけん引と高次都市機能の集積・強化により、圏域全体の魅力を高めることを目指すために構成された圏域。高松市、さぬき市、東かがわ市、土庄町、小豆島町、三木町、直島町、綾川町の3市5町で構成される。

◎DMC (Destination Management Company)

保有する豊富な開催地に関する専門知識、情報、人脈、経営資源等を活用してMICEに関わるプログラム、ツアー、輸送・運送計画等を企画・提案し、サービスを提供する専門会社。

◎DMO (Destination Management/Marketing Organization)

様々な地域資源を組み合わせた観光地の一体的なブランドづくり、ウェブ・SNS等を活用した情報発信・プロモーション、効果的なマーケティング、戦略策定等について、地域が主体となって行う観光地域づくりの推進主体。観光庁が定義する日本版DMOは、地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役。多様な関係者と協同しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに、戦略を着実に実施するための調整機能を備える。

◎PCO (Professional Congress Organize)

会議運営専門会社。あらゆる種類の集会、会議開催に関わる業務、又はこれに関連して派生する一切の運営行事に関わる業務を取り扱うための専門的能力を持った会社。

◎プログラム

行事のスケジュール。各イベント開催の時間と場所の詳細が示される。

◎ユニークベニュー

歴史的建造物、文化施設や公的空間等を活用して会議やレセプションを開催することで、特別感や地域特性を演出できる会場のこと。

＜(公財)高松観光コンベンション・ビューローの「コンベンション統計」＞

本市と近隣町の三木町、直島町、綾川町で開催された(香川県内で開催され、補助金を交付したスポーツ大会、合宿含む)四国規模以上の大会について、主催者、宿泊施設、会議施設等からの情報をもとに作成。

＜日本政府観光局(JNTO)基準＞

【2007 年統計からの新基準】

※以下の①～④を全て満たす国際会議を、「国際会議」とします。

- ①主 催 者 : 「国際機関・国際団体(各国支部を含む)」又は「国家機関・国内団体」(各々の定義が明確ではないため、「特定企業の利益を追求することを目的とした会議」の主催者を除く全てが対象となります。)
- ②参加者総数 : 50名以上
- ③参 加 国 : 日本を含む3か国以上
- ④開 催 期 間 : 1日以上

※参考

＜国際会議協会(ICCA)統計の国際会議選定基準＞

国際機関・国際団体(各国支部を含む)、又は国家機関・国内団体(各々の定義が明確ではないため、民間企業以外は全て)が主催する会議で、以下の条件を満たしていること

1. 参加者総数が50名以上
2. 定期的に行われる(1回だけ開催されたものは除外される)
3. 3か国以上での会議持ち回りがある(2か国間会議は除外される)



高松市MICE振興戦略

おいでMICE 瀬戸の都・高松

発行年月：2017年3月

編集・発行 _____

●高松市市民政策局政策課

tel.087-839-2135 fax.087-839-2125

●高松市創造都市推進局観光交流課

tel.087-839-2416 fax.087-839-2440

〒760-8571 高松市番町一丁目8番15号

<http://www.city.takamatsu.kagawa.jp>